地域と
共生する
FFG

Miyawaka City

宮若市

ネクストステージへ

宮若市は、福岡市、北九州市のほぼ中間に位置し、両都市の通勤通学圏内にあります。また、両都市を含む九州各地を結ぶ九州自動車道の2つのインターチェンジ（若宮IC、宮田SIC）を有し、広域へのアクセスが充実していることから、産業立地に適したまちです。

寄稿:宮若市総合政策課

山間にある清水寺から若宮盆地に広がる雲海を望む

Section 1

北部九州自動車産業の中核都市として

1

産業振興による雇用の創出

これまで自動車産業を核とした企業誘致を積極的に進め、雇用環境の充実を図ってきました。雇用環境の確保は定住人口の増加を図る上で重要な要因となっており、今後もさらなる企業誘致を推進していきます。

またその中核であるトヨタ自動車九州では、テクニカルセンターの竣工から国内第2の拠点としての取り組みを推進しており、関連企業も相次いで本市に進出、磯光工業団地の完売などその存在感は高まるばかりです。

さらに、トヨタ自動車九州と宮若市は地域連携協定を締結。ボランティア活動を始め、グローバル人材育成事業など、その取り組みも次のステージへと進んでいます。

トヨタ自動車九州の地域貢献活動をパネルで紹介

トヨタ自動車九州のグローバル人材育成事業

2

4

3

5

1.トヨタ自動車九州ショールーム　2.トヨタ自動車九州で行われたRXのラインオフ（完成記念）式典　3.トヨタ自動車九州の本社敷地内にある開発・設計拠点「テクニカルセンター」　4.筑豊地区初の水素ステーション　5.磯光工業団地

Section 2

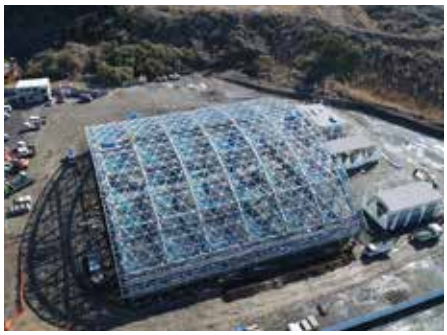
新たなる交流人口の創出へ

子どもたちが夢を描けるまちへ

平成18年の合併を契機に、本市に見合う都市基盤整備に取り組んできました。その一つ、市域西部にある「西鞍の丘総合運動公園」芝生フィールドでは、少年サッカー大会が盛り上がっています。若宮インターチェンジに隣接しており、周辺に宿泊施設もあることなど、環境が整っていることもありますが、少年サッカーであれば、一度に6試合を行うことができる広大なフィールドが大変好評です。

冬にはオーバーシードすることからも、年中青々とした天然の芝でサッカーを楽しむことができます。また、Jリーグ1部、FC東京がミニキャンプを行ったことからも、その芝管理には高い評価をいただいています。

さらに、市域東部には、都市公園として公認規格を有する野球場がある「光陵グリーンパーク」があります。現在多目的屋内施設を整備しており、本年6月に完成予定です。高校野球を始め、九州6大学野球、さらに韓国の大学チームのキャンプが行われるなど、スポーツ施設が整っていくにつれ、新たな交流人口の創出につながっています。



現在建設中の多目的屋内施設

光陵グリーンスタジアム

1

2

3

「西鞍の丘総合運動公園」芝生フィールド

1.「光陵グリーンスタジアム」試合風景　2.「西鞍の丘総合運動公園」で練習するFC東京
3.「西鞍の丘総合運動公園」でサッカーの試合をする子どもたち

Section 3

高品質の農畜産物・食を発信

米・食味分析鑑定コンクールにて、最高賞の金賞受賞

市内の認定農業者の快挙をきっかけに、お米のブランド化への取り組みは一気に加速していくことになります。

これまでも高い評価をいただいてきた宮若のお米でしたが、そこには、データに裏打ちされた確かなおいしさを訴えるものがありませんでした。そこで、食味計を使いお米のうまみを測定、さらに実際に食べた舌触りなど、総合的に判断し最高賞を獲得した宮若米。ブランド化への取り組みが始まりました。

また、大変希少な国産キクラゲを使った加工品や地域のやっかいものだった竹を使うことをヒントに、今では大手デパートでも取り扱いが行われている竹千寿のちまき、徹底して飼料にこだわった宮若ブランドの牛肉など、他の地域にはない、こだわりの農畜産物が宮若市にあります。

これらは、宮若市のふるさと納税でも取り扱われており、高いリピート率を誇っています。

宮若でしか手に入らない高品質な農畜産物、地方創生へ、さらなる発信に取り組んでいきます。

自らもお米づくりに取り組む有吉市長。「自慢のお米をぜひ味わってほしい」と、率先して宮若米をPR

1.竹千寿のちまき　2.濃厚でクリーミーな若宮地黄卵　3.国産キクラゲを使った加工品　4.マスカットの女王ともいわれるシャインマスカット　5.宮若牛のサーロインステーキ　6.カミナリビクルスのキムチ　7.宮若牛の牛舎　8.宮若牛の畜産に取り組む森下牧場

Section 4

次世代の人材育成・まちづくりへ

先進的な教育環境と質の高い住環境

教育先進のまちづくりを掲げ、これまでさまざまな教育施策を展開してきた宮若市。

公立幼稚園では県内で2番目に認定こども園を整備したことをきっかけに、学校再編を行い、宮若東中学校の建設を始め、昨年4月には、施設一体型の小中一貫教育校を開校しました。

このような環境整備と併せ、学力向上に取り組むプロジェクトも取り組んでおり、基礎学力の向上を始め、教員の資質向上に向けた「教師塾」を発足。若い先生への指導技術の向上にも取り組んでいます。

また、教育環境の充実に加え、さまざまな企業が立地する宮若市では、定住の受

光陵ワンダーガーデンズ（完成予想図）

け皿となる環境が課題でした。そこで、市域東部に低廉で質の高い住環境を整えた「光陵ワンダーガーデンズ」を整備。ハウスメーカー6社との共同分譲方式によって取り組みを進めてきたところ、全153区画を有する住宅団地は、分譲開始から1年も経過しないうちに完売となるなど、大変好評でした。

次世代を担う子どもたちの育成を始め、新しい都市へ。宮若市のまちづくりは次のステージへと進んでいます。

充実の教育環境

宮若西中学校

宮若東中学校

Section 5

地方創生から地域創生へ

宮若市 MIYAWAKA CITY × 福岡銀行

1

連携協力によって地方活性化を促進

福岡銀行とＦＦＧと宮若市は、平成28年6月、それぞれの資源を有効活用し、連携協力して、宮若市の地方創生に寄与することを目的に、包括協定を締結しました。

宮若市は、自動車産業を中心に、農業、観光振興と小さいながらもキラリと輝くふるさとづくりに取り組んでいます。その施策の1つに、定住施策があります。新婚世帯、子育て世帯を対象とした家賃補助事業や住宅を取得された方を対象に固定資産税相当額の奨励金を7年間に渡って交付する制度、その他、お子様の保育料の減免制度などに取り組んでいます。また、光陵ワンダーガーデンズ完売に寄与した住宅ローン金利の

TOPICS

宮若市のイメージキャラクター「追い出し猫」

追い出し猫のキャラクター「さくらちゃん」

宮若市のキャラクター「追い出し猫」は、地元で古くから語り継がれていて、寺を荒らす大ネズミを退治した猫の伝説に由来しています。両面に顔があり、片方の顔では、にらみを利かせて災いを追い出し、もう一方は笑顔で福を招くという「縁起物」です。

3

2

5

4

優遇をはじめ、学校跡地や遊休市有地の利活用についても福岡銀行宮田支店、パブリックソリューション部、公務金融法人部等が緊密に連携して、活用を検討しているところです。

福岡県が取りまとめる観光基礎データでは、平成29年7月から9月までの海外居住者の宿泊総数が県内3位となっており、2万5千人を越えています。トヨタ自動車九州の工場見学のほか、脇田温泉やゴルフ場など、想定を上回る皆さんが宮若市を訪れています。2020年には、日本女子オープンゴルフ大会も予定されており、スポーツイベントを通じたインバウンド効果も大きく期待されるところです。

このような市が持つ魅力をより効果的にPRしていくためにも、福岡銀行とFFGの支援をいただきながら、地方創生を加速させ、地域の持つ新たな魅力創造へとつなげていきます。

1.平成28年6月の包括協定締結式　2.3.福岡銀行本店ロビーで3月12日～23日の期間中、宮若市のPRコーナーを設置　4.平成29年度に行われた日本シニアオープンゴルフ選手権の様子　5.福岡の奥座敷・脇田温泉（写真は「湯めぐり宿 楠水閣」）

合格・健康・商売繁盛・交通安全など、招きたいことを笑顔の面に書き入れ、怒った顔の面には、弱気退散・病魔退散・不況退散・事故退散などを書き入れると、願い事に合った自分だけの追い出し猫が完成（置物には、願い事のシール数種類が付いています）。合格祈願や開店祝い、新築祝いなどの贈り物に好評です。

右／追い出し猫の絵馬　中／猫塚公園にある顔出し式の猫バスパネル
左／猫塚公園前バス停